

中学生が考えた「20年後の未来社会と理想の未来キッチン」 キッチンタウン・東京でワークショップを開催

クリナップ(本社:東京都荒川区 代表取締役 社長執行役員:竹内 宏)は、京都市立西京高等学校附属中学校から、生徒が授業の一環として取り組んでいる「未来社会探究」の中で、自ら考案した“未来キッチン”のアイデアを企業に提言したいとの依頼を受け、未来キッチンプロジェクトの一環として協力しました。1月28日にキッチンタウン・東京にて、ワークショップを開催し、生徒のみなさまの自由な発想や価値観を同プロジェクトの活動に生かすべく、意見交換を行いました。

当日は同中学校の生徒4人がキッチンタウン・東京(東京都新宿区)に訪訪。最初に「20年後の理想の未来社会」を少人数のグループで議論していく活動について紹介があり、その中で、10代の子どもの4人に1人が「家族と過ごす時間や過ごし方に問題を抱えている」との調査結果(※)が示されました。その解決策の一つとして、“家族団らんの場”を創出する『ゲームキッチン』の構想を発表いただきました。これはキッチンにスクリーンなどを設け、ゲーム感覚で様々な調理過程をクリアしていくもので、家族全員で楽しみながら料理ができるキッチンというものでした。

プレゼンを受けて未来キッチンプロジェクトメンバーからは、ゲームを取り入れることによるキッチン機能への影響や改善点について指摘するなど、生徒と意見交換を行い、未来の理想のキッチンについて一緒に考えました。

生徒たちは今回のワークショップで出た意見などを踏まえて『理想のキッチン』を再検討し、3月までに校内発表を行う予定です。

当社は新しいライフスタイルを提案する「未来キッチンプロジェクト」を2023年に発足し、従来のキッチンの枠を超えた「脱LDK」をテーマに、企業・学校・自治体と様々な取り組みを行っています。クリナップでは「人と暮らしの未来を拓く」の長期ビジョンのもと、キッチンを通じた生活・社会・地球の豊かさの実現を目指してまいります。

※子ども1万人意識調査子ども向けレポート(2023年、日本財団 公益事業部「子ども基本法プロジェクト」子ども1万人意識調査チーム)より

■未来キッチン ワークショップ開催概要

日時:2026年1月28日(水) 14:00~16:00

場所:クリナップ キッチンタウン・東京

来訪者:京都市立西京高等学校附属中学校

3年生4名、(引率教諭1名)

未来キッチンプロジェクトメンバー:

常務執行役員 藤原亨

商品戦略課長 間辺慎一郎

コミュニケーション課長 守屋雄策



京都市立西京高校附属中学校の皆さんと、モビリティキッチンを囲んで記念撮影

右記より画像がご入手できます:<https://cleanup/press/>

お問い合わせ

クリナップ(株) 総務部 広報・IR課

<https://cleanup.jp/>